

第8次北海道看護職員需給推計について（概要版）

北海道保健福祉部
令和元年（2019年）11月

1 策定目的

北海道における看護職員の計画的かつ安定的な確保に向け、効果的な看護職員確保対策を展開するための基礎資料として、需要数、供給数を推計するとともに、本推計結果を踏まえ、看護職員確保対策について、必要な検討を行う。

2 推計方法

国の策定方針に基づき、令和7年（2025年）における看護職員の需給推計を行った。その際、地域医療構想等との整合性を確保しながら、介護保険事業計画等、直近の統計データを用いて推計した。

3 推計結果

（1）全道の需給推計

2025年の需要数は86,421人、供給数は85,005人であり、1,416人の不足が見込まれる。また、2018年の就業者数との比較では、需要が1.10倍、供給が1.08倍となる。
(単位：人、常勤換算)

| 区分 | 2018年 就業者数(A) | 2025年 需要推計(B) | 就業者数(A)に対す る需要推計(B) | 2025年 供給推計(C) | 就業者数(A)に対す る供給推計(C) | 2025年 差引(C)-(B) |
|------|------------------|------------------|------------------------|------------------|------------------------|--------------------|
| 需給推計 | 78,870.5 | 86,421.1 | 1.10倍 | 85,005.3 | 1.08倍 | ▲ 1,415.8 |

（2）分野別の需要推計

医療分野で1.05倍、在宅・介護分野で1.43倍の需要が見込まれる。

(単位：人、常勤換算)

| 区分 | 2018年 就業者数 | 2025年 需要推計 | 2018就業者数に対す る2025需要の比率 | |
|---------|---------------|---------------|---------------------------|--|
| 医療分野 | 64,509.2 | 67,468.0 | 1.05倍 | ※医療分野～病院・有床診療所（一般病床、療養病床、精神病床）、無床診療所 |
| 在宅・介護分野 | 9,794.8 | 13,970.3 | 1.43倍 | ※在宅・介護分野～訪問看護事業所、介護保険サービス、社会福祉施設 |
| その他 | 4,566.5 | 4,982.8 | 1.09倍 | ※その他～保健所、都道府県・市町村、助産所、看護師等養成所・研究機関、事業所、その他 |
| 全体 | 78,870.5 | 86,421.1 | 1.10倍 | |

（3）二次医療圏別の需要推計（参考値）

全道平均1.1倍に対し、0.93倍から1.22倍と差があり、地域偏在が生じている。

(単位：人、常勤換算)

| 医療圏 | 2018年 就業者数 | 2025年 需要推計 | 2018就業者数 に対する2025 需要の比率 | 医療圏 | 2018年 就業者数 | 2025年 需要推計 | 2018就業者数 に対する2025 需要の比率 | 医療圏 | 2018年 就業者数 | 2025年 需要推計 | 2018就業者数 に対する2025 需要の比率 |
|-------|---------------|---------------|-------------------------------|------|---------------|---------------|-------------------------------|-----|---------------|---------------|-------------------------------|
| 南渡島 | 6,258.0 | 6,323.9 | 1.01倍 | 北空知 | 623.3 | 679.5 | 1.09倍 | 留萌 | 586.4 | 651.3 | 1.11倍 |
| 南檜山 | 278.9 | 302.3 | 1.08倍 | 西胆振 | 3,253.0 | 3,501.4 | 1.08倍 | 宗谷 | 715.7 | 730.3 | 1.02倍 |
| 北渡島檜山 | 601.7 | 561.8 | 0.93倍 | 東胆振 | 2,670.8 | 3,108.0 | 1.16倍 | 北網 | 2,976.0 | 3,050.7 | 1.03倍 |
| 札幌 | 35,148.9 | 40,044.3 | 1.14倍 | 日高 | 665.5 | 811.4 | 1.22倍 | 遠紋 | 860.0 | 908.2 | 1.06倍 |
| 後志 | 3,125.8 | 3,646.4 | 1.17倍 | 上川中部 | 6,925.0 | 6,886.0 | 0.99倍 | 十勝 | 4,420.7 | 4,742.7 | 1.07倍 |
| 南空知 | 2,274.2 | 2,520.2 | 1.11倍 | 上川北部 | 905.7 | 965.6 | 1.07倍 | 釧路 | 3,370.4 | 3,608.9 | 1.07倍 |
| 中空知 | 2,044.7 | 2,098.9 | 1.03倍 | 富良野 | 515.6 | 595.9 | 1.16倍 | 根室 | 650.2 | 683.4 | 1.05倍 |

(注) 地域の実情に合わせた確保対策を検討する基礎資料として、国の推計ツールや統計資料等を基に道が試算したものであり、「参考値」として取り扱う。

4 今後の看護職員確保対策に向けて

推計結果から、「需給バランスの均衡」「訪問看護人材の確保」「地域偏在の解消」が北海道の課題である。今後は、課題の解消に向け、「北海道医療計画」に基づき実施している「養成」「就業定着」「再就業促進」等の基本的な確保対策を一層効果的・効率的に推進するとともに、在宅・介護分野の人材確保や地域偏在の解消に向けた取組を検討する。

第 8 次北海道看護職員需給推計について

北海道保健福祉部
令和元年（2019年）11月

はじめに

看護職員需給推計は、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づく基本指針に沿って、看護職員確保に資する基礎的な資料として、概ね5年ごとに策定してきた。

第7次までは、全数調査により把握した今後の必要数を積み上げる方式で推計を行ってきたところであるが、第8次については、地域医療構想との整合性の確保や地域偏在等の是正などの観点から、将来の医療需要を踏まえた推計方法に変更された。

1 策定目的

北海道における看護職員の計画的かつ安定的な確保に向け、効果的な看護職員確保対策を展開するための基礎資料として、需要数、供給数を推計するとともに、本推計結果を踏まえ、看護職員確保対策について、必要な検討を行う。

2 推計時点

令和7年（2025年）における需給推計を行う。

3 推計方法【別紙1】

(1) 国の策定方針に基づき策定した。その際、国から示された推計方法（推計ツール）により、地域医療構想等との整合性を確保しながら、介護保険事業計画等、直近の統計データを用いて推計し、看護関係団体等の有識者で構成する北海道総合保健医療協議会（地域医療専門委員会看護対策小委員会）の意見を聴取し、策定した。

(2) 需要数については、病院、診療所、訪問看護事業所、介護保険施設については、国が示した推計ツールを用いて需要推計を行い、社会福祉施設、保健所、都道府県・市町村、助産所、看護師等学校養成所・研究機関、事業所、その他の区分については、直近の看護職員業務従事者届の状況及び過去の伸び率等を踏まえて推計した。

(3) 供給数については、国が示した推計ツールに基づき、直近の看護職員業務従事者数を基礎とし、その後の新規就業者数や再就業者数及び退職等による離職者数や従来の確保対策の成果等を踏まえて推計した。

なお、分野別、医療圏別の供給数については、推計ツールによる算定が困難なことから推計していない。

(4) 近年、多様な勤務形態の導入等により、短時間勤務者の割合が増加しているが、個別の勤務時間は多様であり、実人数のみでは充足状況の判断が難しいことや、第7次との継続性を踏まえ、常勤換算で算定することとし、実人数は参考値として取り扱う。

(5) 広域分散型の北海道においては、地域偏在が課題であることから、偏在解消に向け地域の実情にあわせた確保対策を検討する基礎資料として、二次医療圏別の需要数を試算した。

推計方法は、国の推計ツールを基本としているが、二次医療圏別のデータがないものについては、道が把握している統計資料等を基に算出しているため、二次医療圏別の需要推計については、あくまでも参考値として取り扱う。

(6) 国の「医療従事者の需給に関する検討会看護職員需給分科会中間とりまとめ」（以下、「中間とりまとめ」）*において、ワーク・ライフ・バランスの実現を前提とした3つの需要シナリオが目安として示された。

* 医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会（令和元年（2019年）11月15日）

4 推計結果

(1) 全道の需給推計【別紙2】

① 需要数

全体では、2025年時点で、第7次の80,592人から5,829人増の86,421人の需要を見込んでいる。

② 供給数

全体では、2025年時点で、第7次の78,869人から6,136人増の85,005人の供給を見込んでいる。

③ 需要と供給の比較

上記の結果、2025年においては、1,416人の不足が見込まれ、需要は供給の約1.02倍である。

④ 直近の就業者数との比較

2018年就業者数（直近の看護職員業務従事者届での把握数）78,870人と2025年の需要数86,421人を比較した場合、7,551人が不足し、需要との比較では約1.1倍である。

なお、2025年供給数は2018就業者数に対して、6,135人、約1.08倍までの増加を見込んでいる。

(2) 分野別・施設別の需要推計【別紙2～4】

① 需要数

施設別（別紙2）では、病院・有床診療所で58,569人、無床診療所で8,899人、訪問看護事業所で4,752人、介護保険サービスで7,042人、社会福祉施設で2,176人、保健所で382人、都道府県・市町村で2,331人、助産所で72人、看護師等学校養成所・研究機関で984人、事業所で322人、その他で892人の需要を見込んでいる。

分野別（別紙3）では、医療分野*¹で67,468人、在宅・介護分野*²で13,970人、その他*³で4,983人の需要を見込んでいる。

* 1 医療分野～病院・有床診療所（一般病床、療養病床、精神病床）、無床診療所

* 2 在宅・介護分野～訪問看護事業所、介護保険サービス、社会福祉施設

* 3 その他～保健所、都道府県・市町村、助産所、看護師等養成所・研究機関、事業所、その他

② 直近の就業者数との比較

2025年の需要数と2018年の就業者数を比較すると、全体では1.1倍、医療分野では1.05倍であるのに対し、在宅・介護分野は1.43倍の需要が見込まれ、施設別（別紙4）では、特に、訪問看護ステーションが2018年の就業者数2,375人に対し需要数4,752人で2.0倍、社会福祉施設が同1,374人に対し2,176人で1.58倍と高くなっている。

③ 推計値の取扱いに係る留意事項

2025年における地域医療構想の実現を前提とした推計値であり、その実現度合いにより、看護職員の必要数は変化する可能性がある。

訪問看護事業所の需要推計については、精神病床からの基盤整備量（利用者数）を、便宜上、すべて訪問看護により対応するものと仮定した場合の推計である。

(3) 二次医療圏別の需要推計（参考値）【別紙3～4】

2025年需要数が2018年就業者数を上回る圏域がほとんどであるが、その割合は全道平均1.1倍に対し、0.93倍から1.22倍と差があり、地域偏在が生じている。

また、2018年就業者数が2025年需要数を上まわる場合においても、訪問看護や社会福祉施設においては需要数が上まわっていたり、看護職員の確保・定着が困難な地域や施設があるなど、確保上の課題は各圏域により異なる。

さらに、北海道ナースセンターにおけるH30の求人倍率は全圏域で1.0倍以上（全道平均約2.4倍）であり、推計結果にかかわらず看護職員の確保対策は全道的な課題である。

今後の確保対策は、就業者数の推移や求人倍率等、他の要素も含め地域の実情を踏まえた検討が必要であり、今回の試算結果も含めて、圏域ごとの丁寧な分析が必要である。

(4) その他

国の中間とりまとめで示されたワーク・ライフ・バランスの充実度合いによる需要シナリオは、就業中の全ての看護職員において、シナリオ①「月の超過勤務時間10時間以内、1年の有給休暇取得5日以上を達成」、シナリオ②「超過勤務時間10時間以内、有給休暇取得10日以上」、シナリオ③「超過勤務時間なし、有給休暇取得20日以上」と、幅を持たせた推計となっている。

現状における看護職員の平均的な働き方は、国の調査*1によると、時間外労働は10.3時間、年次有給休暇取得日数は10.3日（H29）であり、すでにシナリオ②に近いものの、シナリオの推計値は、平均に到達していない時間及び日数を人員に換算し、増加係数を算出しているものである。なお、北海道看護協会の調査*2によると、道内看護職員の現状は「超過勤務時間5.6時間、（付与日数に対する）有給休暇取得率56.1%（H30）」で、全国と同様の傾向と考えられる。

これらの需要シナリオは、短時間勤務者の増加、超過勤務と休暇取得の要素のみを用いて算定され、働き方改革の他の要素（勤務間インターバル制度や深夜業の回数、ICTを活用した業務効率化やタスク・シフティングによる業務削減など）は推計に反映されておらず、推計方法に不確定な要素はあるものの、勤務環境の改善は離職防止対策として重要な取組の一つである。

さらに、労働時間や勤務環境改善に向けては、現在、国で調査研究が進められており、今後はその結果も踏まえ、働き続けやすい勤務環境の整備をはじめ、業務効率化の取組を検討する必要がある。

*1「平成29年度厚生労働省委託・医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取り組みに対する支援の充実を図るための調査・研究事業報告書（平成30年3月 医療分野の勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取り組みに対する支援の充実を図るための検討委員会）」

*2「2018年（平成30年）北海道における看護職員需給状況調査（公益社団法人北海道看護協会）」

5 今後の看護職員確保に向けて

北海道が、国の推計ツールに基づき実施した推計では、2025年の医療提供体制の整備に必要な需要数は、常勤換算で約86,400人、供給推計は約85,000人で、約1,400人の需給ギャップが生じる。

また、高齢化の進行や地域医療構想による病床の機能分化・連携により、訪問看護ステーション等、在宅・介護分野の需要が大きく増加すること、さらに二次医療圏別の需要数の試算においては、地域偏在が生じていることなどから、「需給バランスの均衡」、「訪問看護人材の確保」、「地域偏在の解消」が、北海道の課題である。

こうした課題の解消に向け、今後は、「北海道医療計画」に基づき実施してきた「養成」、「就業定着」、「再就業促進」等の基本的な確保対策を一層、効果的・効率的に推進するとともに、ワーク・ライフ・バランスの充実に向けた勤務環境改善に取り組むことが重要である。

あわせて、在宅・介護分野の人材確保や地域偏在の解消に向けた取組の検討が必要である。

(1) 新規養成

道では、看護職員養成所の運営や施設整備等を支援するとともに、道立養成施設の運営を行っているほか、小中学生や高校生が看護の魅力や、やりがいを知り看護職を志望する動機となるよう看護体験事業を実施したり、社会人経験者など多様な人材の入学促進に向けて、看護職員養成所へ教育訓練給付金制度の活用を働きかけるなど、入学者の確保に取り組んでいる。また、看護学生が安心して学べるよう修学資金の貸付や、看護基礎教育の充実に向けて、看護教員や実習指導者の研修事業を実施している。

今後は、少子化の影響により養成数の大幅な増加は難しいものの、看護志望者の拡大や多様な人材の確保に努め、道内への就業を促進するとともに、病院以外（在宅医療や介護保険サービス等）の様々な場面での看護ニーズが拡大することから、学生時代から多様なキャリアと働き方について理解を深める取組を推進する必要がある。

(2) 就業定着・離職防止の推進

道では、子育てや介護など、生活と仕事の両立に向けて、院内保育所の運営や多様な勤務形態の導入、勤務環境改善を目的とした施設整備を行う医療機関の取組を支援しているほか、北海道医療勤務環境改善支援センターにおいて、労働時間等の管理や健康保持に向け、個々の医療機関の課題やニーズに応じた支援を実施している。また、新人看護職員研修を行う医療機関の取組を支援するほか、院内の教育責任者や指導者等、教育に携わる人材を育成するなど、新人看護職員をはじめとした離職を防ぐ取組を実施している。

今後は、北海道医療勤務環境改善支援センターと北海道ナースセンターとの連携を一層強化し、ナースセンターの支所機能も積極的に活用しながら、求人施設への個別訪問などを通じ、勤務環境の改善に向けた働きかけを強化する。

また、雇用延長等、雇用確保措置の拡大による就業定着を図るほか、交代制勤務の看護職に適した勤務間インターバル制度など、労働時間、勤務環境改善に関する国の調査研究等の結果も踏まえ、取組を検討する。

(3) 再就業促進

道では、北海道ナースセンターにおいて、ライフサイクルやキャリアに応じた就業斡旋相談を行うとともに、実技演習や病院実習、eラーニングなどを活用した復職支援研修により再就業促進に向けた取組を実施している。

今後は、未就業看護職員の再就業を積極的に促進するため、求職者に対するきめ細かな相談支援や求人施設への個別訪問の実施、ハローワークとの密接な連携による就業斡旋体制の強化など、北海道ナースセンターの機能の充実を図るほか、離職時届出制度（とどけるん）を有効に活用し、さらなる未就業者の掘り起こしに努める。

さらに、訪問看護事業所や介護保険施設等への再就業の促進や、定年を迎えてもなお意欲のある看護職（プラチナナース）の就業促進を図る必要がある。

(4) 訪問看護人材の確保・育成

道では、地域包括ケアシステムの構築と在宅医療の推進に向け、医療・介護・福祉・行政などの看護管理者を対象とした圏域別研修を行い、地域連携の必要性の理解を促進するほか、各圏域での顔の見える連携体制の強化を目指している。

また、訪問看護に携わる看護師等に対し、看取りや在宅移行を含めた療養支援に関する研修を行うとともに、医療機関で働く看護職員には、在宅医療に関する理解の促進や退院支援機能の強化に向け、研修や出向事業等を実施し、在宅医療を担う人材を育成している。

今後は、在宅・介護分野の大幅な需要増が見込まれることから、北海道内の訪問看護ステーションにおける人材確保や育成に係る課題を踏まえ、今後の確保対策を検討するとともに、特定行為を行う看護師が在宅医療の現場で活躍できるよう、国や関係団体等と連携し研修制度の普及啓発などを行う。

(5) 地域偏在の解消

道では、道内で看護職員として就業する看護学生に対する修学資金の貸付けや看護職員が不足する地域へ積極的に学生を就業させている養成所への運営支援などにより、中長期的な地域偏在の解消に取り組んでいる。

また、地域の病院等における看護職員の不足を一時的に解消するため、地域応援ナースや助産師等の派遣・出向事業に取り組んでいる。

今後は、より地域での就業促進につながる修学資金の仕組みや、道外からの地域応援ナース登録者の増加に向けた取組などの施策を検討するとともに、地域の実情や課題に応じた看護職員の確保対策を展開するため、圏域別の議論を促していく必要がある。

おわりに

今後、本道における看護職員確保対策を実効性のあるものとするため、引き続き、看護職員の就業者状況等から関連事業を評価するとともに、地域医療構想の進捗度合や、国が実施する看護職の労働時間・勤務環境等に関する調査結果も踏まえ、北海道医療計画の見直しの機会等において、北海道総合保健医療協議会や関係団体と協議をしながら効果的な確保対策を推進する。

[添付資料]

| | | |
|------|---|--------|
| 別紙 1 | 第8次北海道看護職員需給推計の推計方法について | P 6 |
| 別紙 2 | 第8次北海道看護職員需給推計 (全道版・施設別)【常勤換算】 | P 7 |
| 別紙 3 | 第8次北海道看護職員需給推計 (医療圏別・分野別の試算－参考値)【常勤換算】 | P 8 |
| 別紙 4 | 第8次北海道看護職員需給推計 (医療圏別・施設別の試算－参考値)【常勤換算】 | P 9～10 |
| 参考資料 | 第8次北海道看護職員需給推計 (全道版・施設別－参考値)【実人員】 | P 11 |

第8次北海道看護職員需給推計の推計方法について

| 区 分 | | 全 道 | 二次医療圏（試算） |
|------------------|--------------------------|---|---|
| 需 要 推 計 | A 一般病床 及び療養病床 | (国の推計ツールに基づく) 「※地域医療構想(2025年)における病床数の必要 量」×「現在の病床数あたりの看護職員数」(国係数) | 左記と同様の方法で算出 「※地域医療構想(2025年)における病床数の必要 量」は、二次医療圏毎の推計値を使用 |
| | B 精神病床 | (国の推計ツールに基づく) 「※将来の精神病床における入院需要」×「現在の入 院需要あたりの看護職員数」(国係数) | 左記と同様の方法で算出 「※将来の精神病床における入院需要」は、二次医療 ごとのデータがないため、二次医療圏毎の稼働病床 数(平成30年度医療監視結果)を使用 |
| | C 無床診療所 | (国の推計ツールに基づく) 「※将来の患者数」(国係数)×「現在の患者数あた りの看護職員数」(国係数) | 左記と同様の方法で算出 「※将来の患者数」は、二次医療圏ごとのデータがな いため、直近の看護職員業務従事者数を使用 |
| | D 訪問看護事業所 | (国の推計ツールに基づく) 「※将来の利用者数」(国係数)×「現在の利用者数あ たり看護職員数」(国係数) | 左記と同様の方法で算出 「※将来の利用者数」は、二次医療圏ごとのデータが ないため、医療保険分と介護保険をそれぞれ次の データを使用 ・医療保険分～推計人口(2025年) ・介護保険分～介護保険事業計画におけるサービス 見込量 |
| | E 介護保険 サービス | (国の推計ツールに基づく) 「※将来の利用者数」(国係数)×「現在の利用者数あ たり看護職員数」(国係数) | 左記と同様の方法で算出 「※将来の利用者数」は、二次医療圏ごとのデータが ないため、介護保険事業計画サービス見込量を使用 |
| | F 社会福祉施設 | | |
| | G 保健所 | 2012年から2018年までの年平均伸率を算出し、2018 年看護職員業務従事者届の集計結果に当該率を乗 じて2025年における看護職員数を推計 | 左記と同様の方法で算出 ※二次医療圏ごとの2018年看護職員業務従事届の 集計結果を使用 |
| | H 都道府県・ 市町村 | | |
| | I 助産所 | | |
| | J 看護師等学校 養成所・ 研究機関 | 2018年看護職員業務従事者届の集計結果に、現時 点で確定している看護師等学校養成所の新設・廃止 予定を反映させ、2025年における看護師等学校養成 所・研究機関に従事する看護職員数として推計 | 左記と同様の方法で算出 |
| | K 事業所 | 現状配置を見込むものとして、2018年看護職員業務 従事者届の集計結果を2025年における事業所に従 事する看護職員数として推計 | 左記と同様の方法で算出 |
| | L その他 | 現状配置を見込むものとして、2018年看護職員業務 従事者届の集計結果を2025年における事業所に従 事する看護職員数として推計 | 左記と同様の方法で算出 |
| | 供給推計 | | (国推計ツールに基づく) [前年の看護職員数+新規就業者数+再就業者数] ×(1-離職率)を2025年まで積み上げ ※供給推計における常勤換算方法 国から示された実人員と常勤換算の比率を使用(常 勤換算比率 1.13) |

※ 需要推計における国の推計ツールは常勤換算による算出

ワーク・ライフ・バランスの実現を前提とした3つの需要シナリオについて

「医療従事者の需給に関する検討会看護職員需給分科会中間とりまとめ」

[単位:人、実人数]

| 区分 | 1月当たり 超過勤務 時間数 | 1年当たり 有給休暇 取得日数 | 需要推計 | 供給推計 (96,056人) との差 |
|-------|----------------------|-----------------------|---------|--------------------------|
| 道推計値 | | | 98,548 | 2,492 |
| シナリオ① | 10時間以内 | 5日以上 | 102,981 | 6,925 |
| シナリオ② | 10時間以内 | 10日以上 | 103,906 | 7,850 |
| シナリオ③ | 0時間 | 20日以上 | 110,598 | 14,542 |

[算出方法]常勤換算比率の伸び率と、超過勤務時間・有給休暇取得日数が平均に到達していない場合の時間及び日数を人員に換算し追加が必要となる人員の増加係数を算出。それを各都道府県の需要推計値に乗じた。

第8次北海道看護職員需給推計（全道版・施設別）【常勤換算】

別紙2

(単位:人)

| 施設区分 【 】は第7次推計における施設区分名 | 第7次 需給推計 | 第8次 需給推計 | 需給の比較 (10年間) | 参考:看護職員業務従事者届 (10年前③、直近調査④)の比較 | | | 従事者届と 需給推計の比較 |
|---------------------------------|------------------|-----------------|------------------|-----------------------------------|------------------|------------------|------------------|
| | H27年① (2015年) | R7年② (2025年) | 第8次-第7次 (②-①) | H20年③ (2008年) | H30年④ (2018年) | H30-H20 (④-③) | H30-第8次 (④-②) |
| A1 一般病床及び療養病床(有床診) 【有床診療所】 | 4,288.0 | 53,523.0 | 3,536.1 | 3,673.2 | 3,224.8 | ▲ 448.4 | ▲ 183.9 |
| A2 一般病床及び療養病床(病院) 【病院】 | 50,745.0 | | | 50,549.0 | 55,160.4 | 4,611.4 | |
| B 精神病床 【なし】⇒A2の病院を細分化 | | | | 5,046.1 | 54,222.2 | 58,385.2 | |
| 病床計(A1+A2+B) | 55,033.0 | 58,569.1 | 3,536.1 | 54,222.2 | 58,385.2 | 4,163.0 | ▲ 183.9 |
| C 無床診療所 【無床診療所】 | 9,159.0 | 8,898.9 | ▲ 260.1 | 5,001.9 | 6,124.0 | 1,122.1 | ▲ 2,774.9 |
| D 訪問看護事業所 【訪問看護ステーション】 | 1,954.0 | 4,752.1 | 2,798.1 | 1,113.2 | 2,374.8 | 1,261.6 | ▲ 2,377.3 |
| E 介護保険サービス 【介護保険関係】 | 10,162.0 | 7,041.8 | ▲ 3,120.2 | 4,181.9 | 6,046.2 | 1,864.3 | ▲ 995.6 |
| F 社会福祉施設 【社会福祉施設、在宅サービス】 | 1,070.0 | 2,176.4 | 1,106.4 | 684.1 | 1,373.8 | 689.7 | ▲ 802.6 |
| G 保健所(市町村はHへ移行) 【保健所、市町村】 | 1,949.0 | 382.3 | 764.7 | 397.0 | 347.6 | ▲ 49.4 | ▲ 34.7 |
| H 都道府県・市町村 【なし】⇒Gを細分化 | | 2,331.4 | | 1,566.5 | 1,966.2 | 399.7 | ▲ 365.2 |
| I 助産所 【助産所】 | 40.0 | 71.7 | 31.7 | 40.6 | 54.3 | 13.7 | ▲ 17.4 |
| J 看護師等学校養成所・研究機関 【看護師等学校養成所】 | 920.0 | 983.5 | 63.5 | 801.0 | 984.5 | 183.5 | 1.0 |
| K 事業所(研究機関はJへ移行) 【事業所、研究機関等】 | 305.0 | 322.1 | 17.1 | 261.7 | 322.1 | 60.4 | 0.0 |
| L その他 【なし】⇒新設 | | 891.8 | 891.8 | 826.3 | 891.8 | 65.5 | 0.0 |
| I 需要推計 | 80,592.0 | 86,421.1 | 5,829.1 | 69,096.4 | 78,870.5 | 9,774.1 | ▲ 7,550.6 |
| II 供給推計 | 78,869.0 | 85,005.3 | 6,136.3 | | | | ▲ 6,134.8 |
| III 差引(II-I) | ▲ 1,723.0 | ▲ 1,415.8 | 307.2 | III 差引(I-II) | | | ▲ 1,415.8 |

第8次北海道看護職員需要推計(医療圏別・分野別の試算－参考値) 【常勤換算】

(単位:人) **別紙3**

| 施設区分 二次圏 ・三次圏 | 看護職員需要 (合計) | | | | | | 医療分野 (A~C) | | | | 在宅・介護分野 (D~F) | | | | その他 (G~L) | | | |
|---------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|-----------------|------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|
| | 2025 需要数 ① | 2018 就業者 ② | 差 引 (②-①) ③ | 対 比 (①:②) ④ | 参 考 | | 2025 需要数 ① | 2018 就業者 ② | 差 引 (②-①) ③ | 対 比 (①:②) ④ | 2025 需要数 ① | 2018 就業者 ② | 差 引 (②-①) ③ | 対 比 (①:②) ④ | 2025 需要数 ① | 2018 就業者 ② | 差 引 (②-①) ③ | 対 比 (①:②) ④ |
| | | | | | H30-H22 増減 ⑤ | (③+⑤) ⑥ | | | | | | | | | | | | |
| 南渡島 | 6,323.9 | 6,258.0 | ▲65.9 | 1.01倍 | 487.6 | 421.7 | 5,050.5 | 5,178.2 | 127.7 | 0.98倍 | 965.9 | 796.9 | ▲169.0 | 1.21倍 | 307.5 | 282.9 | ▲24.6 | 1.09倍 |
| 南檜山 | 302.3 | 278.9 | ▲23.4 | 1.08倍 | ▲19.4 | ▲42.8 | 178.1 | 182.0 | 3.9 | 0.98倍 | 70.1 | 48.3 | ▲21.8 | 1.45倍 | 54.1 | 48.6 | ▲5.5 | 1.11倍 |
| 北渡島檜山 | 561.8 | 601.7 | 39.9 | 0.93倍 | 3.4 | 43.3 | 399.9 | 493.8 | 93.9 | 0.81倍 | 112.1 | 65.5 | ▲46.6 | 1.71倍 | 49.8 | 42.4 | ▲7.4 | 1.17倍 |
| 道南圏 | 7,188.0 | 7,138.6 | ▲49.4 | 1.01倍 | 471.6 | 422.2 | 5,628.5 | 5,854.0 | 225.5 | 0.96倍 | 1,148.1 | 910.7 | ▲237.4 | 1.26倍 | 411.4 | 373.9 | ▲37.5 | 1.10倍 |
| 札幌 | 40,044.3 | 35,148.9 | ▲4,895.4 | 1.14倍 | 5,238.1 | 342.7 | 32,779.6 | 29,761.4 | ▲3,018.2 | 1.10倍 | 5,579.6 | 3,805.5 | ▲1,774.1 | 1.47倍 | 1,685.1 | 1,582.0 | ▲103.1 | 1.07倍 |
| 後志 | 3,646.4 | 3,125.8 | ▲520.6 | 1.17倍 | 193.2 | ▲327.4 | 2,646.0 | 2,403.4 | ▲242.6 | 1.10倍 | 789.4 | 532.3 | ▲257.1 | 1.48倍 | 211.0 | 190.1 | ▲20.9 | 1.11倍 |
| 南空知 | 2,520.2 | 2,274.2 | ▲246.0 | 1.11倍 | 4.0 | ▲242.0 | 1,758.9 | 1,672.0 | ▲86.9 | 1.05倍 | 539.2 | 397.9 | ▲141.3 | 1.36倍 | 222.1 | 204.3 | ▲17.8 | 1.09倍 |
| 中空知 | 2,098.9 | 2,044.7 | ▲54.2 | 1.03倍 | 25.3 | ▲28.9 | 1,615.1 | 1,683.8 | 68.7 | 0.96倍 | 350.3 | 242.9 | ▲107.4 | 1.44倍 | 133.5 | 118.0 | ▲15.5 | 1.13倍 |
| 北空知 | 679.5 | 623.3 | ▲56.2 | 1.09倍 | ▲26.1 | ▲82.3 | 501.8 | 471.9 | ▲29.9 | 1.06倍 | 108.4 | 90.2 | ▲18.2 | 1.20倍 | 69.3 | 61.2 | ▲8.1 | 1.13倍 |
| 西胆振 | 3,501.4 | 3,253.0 | ▲248.4 | 1.08倍 | 261.6 | 13.2 | 2,752.5 | 2,748.0 | ▲4.5 | 1.00倍 | 580.9 | 352.5 | ▲228.4 | 1.65倍 | 168.0 | 152.5 | ▲15.5 | 1.10倍 |
| 東胆振 | 3,108.0 | 2,670.8 | ▲437.2 | 1.16倍 | 112.0 | ▲325.2 | 2,345.1 | 2,131.1 | ▲214.0 | 1.10倍 | 568.1 | 358.1 | ▲210.0 | 1.59倍 | 194.8 | 181.6 | ▲13.2 | 1.07倍 |
| 日高 | 811.4 | 665.5 | ▲145.9 | 1.22倍 | 23.0 | ▲122.9 | 531.2 | 449.4 | ▲81.8 | 1.18倍 | 184.8 | 131.6 | ▲53.2 | 1.40倍 | 95.4 | 84.5 | ▲10.9 | 1.13倍 |
| 道央圏 | 56,410.1 | 49,806.2 | ▲6,603.9 | 1.13倍 | 5,831.1 | ▲772.8 | 44,930.2 | 41,321.0 | ▲3,609.2 | 1.09倍 | 8,700.7 | 5,911.0 | ▲2,789.7 | 1.47倍 | 2,779.2 | 2,574.2 | ▲205.0 | 1.08倍 |
| 上川中部 | 6,886.0 | 6,925.0 | 39.0 | 0.99倍 | 627.2 | 666.2 | 5,276.1 | 5,548.1 | 272.0 | 0.95倍 | 1,175.7 | 968.6 | ▲207.1 | 1.21倍 | 434.2 | 408.3 | ▲25.9 | 1.06倍 |
| 上川北部 | 965.6 | 905.7 | ▲59.9 | 1.07倍 | ▲5.7 | ▲65.6 | 649.3 | 654.8 | 5.5 | 0.99倍 | 184.7 | 130.0 | ▲54.7 | 1.42倍 | 131.6 | 120.9 | ▲10.7 | 1.09倍 |
| 富良野 | 595.9 | 515.6 | ▲80.3 | 1.16倍 | 25.3 | ▲55.0 | 415.7 | 389.2 | ▲26.5 | 1.07倍 | 115.6 | 69.5 | ▲46.1 | 1.66倍 | 64.6 | 56.9 | ▲7.7 | 1.14倍 |
| 留萌 | 651.3 | 586.4 | ▲64.9 | 1.11倍 | 28.3 | ▲36.6 | 460.3 | 440.7 | ▲19.6 | 1.04倍 | 120.2 | 85.0 | ▲35.2 | 1.41倍 | 70.8 | 60.7 | ▲10.1 | 1.17倍 |
| 宗谷 | 730.3 | 715.7 | ▲14.6 | 1.02倍 | 30.0 | 15.4 | 464.2 | 518.3 | 54.1 | 0.90倍 | 158.4 | 103.1 | ▲55.3 | 1.54倍 | 107.7 | 94.3 | ▲13.4 | 1.14倍 |
| 道北圏 | 9,829.1 | 9,648.4 | ▲180.7 | 1.02倍 | 705.1 | 524.4 | 7,265.6 | 7,551.1 | 285.5 | 0.96倍 | 1,754.6 | 1,356.2 | ▲398.4 | 1.29倍 | 808.9 | 741.1 | ▲67.8 | 1.09倍 |
| 北網 | 3,050.7 | 2,976.0 | ▲74.7 | 1.03倍 | 4.1 | ▲70.6 | 2,187.8 | 2,300.7 | 112.9 | 0.95倍 | 615.1 | 447.0 | ▲168.1 | 1.38倍 | 247.8 | 228.3 | ▲19.5 | 1.09倍 |
| 遠紋 | 908.2 | 860.0 | ▲48.2 | 1.06倍 | ▲79.9 | ▲128.1 | 622.1 | 614.2 | ▲7.9 | 1.01倍 | 185.3 | 157.9 | ▲27.4 | 1.17倍 | 100.8 | 87.9 | ▲12.9 | 1.15倍 |
| オホーツク圏 | 3,958.9 | 3,836.0 | ▲122.9 | 1.03倍 | ▲75.8 | ▲198.7 | 2,809.9 | 2,914.9 | 105.0 | 0.96倍 | 800.4 | 604.9 | ▲195.5 | 1.32倍 | 348.6 | 316.2 | ▲32.4 | 1.10倍 |
| 十勝 | 4,742.7 | 4,420.7 | ▲322.0 | 1.07倍 | 337.4 | 15.4 | 3,545.4 | 3,557.6 | 12.2 | 1.00倍 | 858.6 | 567.9 | ▲290.7 | 1.51倍 | 338.7 | 295.2 | ▲43.5 | 1.15倍 |
| 十勝圏 | 4,742.7 | 4,420.7 | ▲322.0 | 1.07倍 | 337.4 | 15.4 | 3,545.4 | 3,557.6 | 12.2 | 1.00倍 | 858.6 | 567.9 | ▲290.7 | 1.51倍 | 338.7 | 295.2 | ▲43.5 | 1.15倍 |
| 釧路 | 3,608.9 | 3,370.4 | ▲238.5 | 1.07倍 | 181.0 | ▲57.5 | 2,846.0 | 2,825.1 | ▲20.9 | 1.01倍 | 551.9 | 352.3 | ▲199.6 | 1.57倍 | 211.0 | 193.0 | ▲18.0 | 1.09倍 |
| 根室 | 683.4 | 650.2 | ▲33.2 | 1.05倍 | 27.4 | ▲5.8 | 442.4 | 485.5 | 43.1 | 0.91倍 | 156.0 | 91.8 | ▲64.2 | 1.70倍 | 85.0 | 72.9 | ▲12.1 | 1.17倍 |
| 釧路・根室圏 | 4,292.3 | 4,020.6 | ▲271.7 | 1.07倍 | 208.4 | ▲63.3 | 3,288.4 | 3,310.6 | 22.2 | 0.99倍 | 707.9 | 444.1 | ▲263.8 | 1.59倍 | 296.0 | 265.9 | ▲30.1 | 1.11倍 |
| 全道需要計 | 86,421.1 | 78,870.5 | ▲7,550.6 | 1.10倍 | 7,477.8 | ▲72.8 | 67,468.0 | 64,509.2 | ▲2,958.8 | 1.05倍 | 13,970.3 | 9,794.8 | ▲4,175.5 | 1.43倍 | 4,982.8 | 4,566.5 | ▲416.3 | 1.09倍 |

※①2025需要数は、令和7年(2025年)における看護職員の需要見込
 ※②2018就業者は、看護職員業務従事者届(直近:平成30年(2018年)12月末現在)の結果
 ※④対比(①:②)は、2018就業者に対する2025需要の比率(単位:倍)
 ※⑤H30-H22増減は、平成30年(2018年)と平成22年(2010)の差(8年間の増減数)

※⑥(③+⑤)は、差引③に、過去の増減⑤を加えた仮定の数値(参考値)
 ※医療分野～病院・有床診療所(一般病床、療養病床、精神病床)、無床診療所
 ※在宅・介護分野～訪問看護事業所、介護保険サービス、社会福祉施設
 ※その他～保健所、都道府県・市町村、助産所、看護師等養成所・研究機関、事業所、その他

第8次北海道看護職員需要推計(医療圏別・施設別の試算－参考値) 【常勤換算】

(単位:人)

別紙4-1

| 施設区分 二次圏 ・三次圏 | A 一般病床及び療養病床・ B 精神病床(病院・有床診療所) | | | | C 無床診療所 | | | | D 訪問看護事業所 | | | | E 介護保険サービス | | | | F 社会福祉施設 | | | |
|---------------------|-----------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | 2025 需要数 ① | 2018 就業者 ② | 差引 (②-①) ③ | 対比 (①:②) ④ | 2025 需要数 ① | 2018 就業者 ② | 差引 (②-①) ③ | 対比 (①:②) ④ | 2025 需要数 ① | 2018 就業者 ② | 差引 (②-①) ③ | 対比 (①:②) ④ | 2025 需要数 ① | 2018 就業者 ② | 差引 (②-①) ③ | 対比 (①:②) ④ | 2025 需要数 ① | 2018 就業者 ② | 差引 (②-①) ③ | 対比 (①:②) ④ |
| 南渡島 | 4,231.2 | 4,614.4 | 383.2 | 0.92倍 | 819.3 | 563.8 | ▲255.5 | 1.45倍 | 280.4 | 159.7 | ▲120.7 | 1.76倍 | 539.4 | 545.0 | 5.6 | 0.99倍 | 146.1 | 92.2 | ▲53.9 | 1.58倍 |
| 南檜山 | 171.0 | 177.1 | 6.1 | 0.97倍 | 7.1 | 4.9 | ▲2.2 | 1.45倍 | 14.9 | 6.6 | ▲8.3 | 2.26倍 | 50.5 | 38.7 | ▲11.8 | 1.30倍 | 4.7 | 3.0 | ▲1.7 | 1.57倍 |
| 北渡島檜山 | 380.6 | 480.5 | 99.9 | 0.79倍 | 19.3 | 13.3 | ▲6.0 | 1.45倍 | 22.1 | 0.0 | ▲22.1 | — | 71.2 | 53.6 | ▲17.6 | 1.33倍 | 18.8 | 11.9 | ▲6.9 | 1.58倍 |
| 道南圏 | 4,782.8 | 5,272.0 | 489.2 | 0.91倍 | 845.7 | 582.0 | ▲263.7 | 1.45倍 | 317.4 | 166.3 | ▲151.1 | 1.91倍 | 661.1 | 637.3 | ▲23.8 | 1.04倍 | 169.6 | 107.1 | ▲62.5 | 1.58倍 |
| 札幌 | 28,380.4 | 26,734.0 | ▲1,646.4 | 1.06倍 | 4,399.2 | 3,027.4 | ▲1,371.8 | 1.45倍 | 2,507.3 | 1,296.3 | ▲1,211.0 | 1.93倍 | 2,506.8 | 2,152.3 | ▲354.5 | 1.16倍 | 565.5 | 356.9 | ▲208.6 | 1.58倍 |
| 後志 | 2,305.7 | 2,169.2 | ▲136.5 | 1.06倍 | 340.3 | 234.2 | ▲106.1 | 1.45倍 | 170.6 | 66.6 | ▲104.0 | 2.56倍 | 377.8 | 313.6 | ▲64.2 | 1.20倍 | 241.0 | 152.1 | ▲88.9 | 1.58倍 |
| 南空知 | 1,515.4 | 1,504.4 | ▲11.0 | 1.01倍 | 243.5 | 167.6 | ▲75.9 | 1.45倍 | 129.3 | 72.3 | ▲57.0 | 1.79倍 | 328.8 | 274.4 | ▲54.4 | 1.20倍 | 81.1 | 51.2 | ▲29.9 | 1.58倍 |
| 中空知 | 1,471.8 | 1,585.2 | 113.4 | 0.93倍 | 143.3 | 98.6 | ▲44.7 | 1.45倍 | 79.9 | 23.9 | ▲56.0 | 3.34倍 | 204.5 | 177.4 | ▲27.1 | 1.15倍 | 65.9 | 41.6 | ▲24.3 | 1.58倍 |
| 北空知 | 434.8 | 425.8 | ▲9.0 | 1.02倍 | 67.0 | 46.1 | ▲20.9 | 1.45倍 | 20.5 | 9.6 | ▲10.9 | 2.14倍 | 70.5 | 69.6 | ▲0.9 | 1.01倍 | 17.4 | 11.0 | ▲6.4 | 1.58倍 |
| 西胆振 | 2,450.5 | 2,540.2 | 89.7 | 0.96倍 | 302.0 | 207.8 | ▲94.2 | 1.45倍 | 139.7 | 47.3 | ▲92.4 | 2.95倍 | 336.3 | 239.0 | ▲97.3 | 1.41倍 | 104.9 | 66.2 | ▲38.7 | 1.58倍 |
| 東胆振 | 2,017.9 | 1,905.9 | ▲112.0 | 1.06倍 | 327.2 | 225.2 | ▲102.0 | 1.45倍 | 159.5 | 58.5 | ▲101.0 | 2.73倍 | 284.1 | 221.0 | ▲63.1 | 1.29倍 | 124.5 | 78.6 | ▲45.9 | 1.58倍 |
| 日高 | 457.2 | 398.5 | ▲58.7 | 1.15倍 | 74.0 | 50.9 | ▲23.1 | 1.45倍 | 47.4 | 26.2 | ▲21.2 | 1.81倍 | 105.1 | 85.0 | ▲20.1 | 1.24倍 | 32.3 | 20.4 | ▲11.9 | 1.58倍 |
| 道央圏 | 39,033.7 | 37,263.2 | ▲1,770.5 | 1.05倍 | 5,896.5 | 4,057.8 | ▲1,838.7 | 1.45倍 | 3,254.2 | 1,600.7 | ▲1,653.5 | 2.03倍 | 4,213.9 | 3,532.3 | ▲681.6 | 1.19倍 | 1,232.6 | 778.0 | ▲454.6 | 1.58倍 |
| 上川中部 | 4,547.2 | 5,046.5 | 499.3 | 0.90倍 | 728.9 | 501.6 | ▲227.3 | 1.45倍 | 297.2 | 225.9 | ▲71.3 | 1.32倍 | 503.9 | 506.3 | 2.4 | 1.00倍 | 374.6 | 236.4 | ▲138.2 | 1.58倍 |
| 上川北部 | 582.5 | 608.8 | 26.3 | 0.96倍 | 66.8 | 46.0 | ▲20.8 | 1.45倍 | 44.9 | 22.4 | ▲22.5 | 2.00倍 | 114.6 | 91.7 | ▲22.9 | 1.25倍 | 25.2 | 15.9 | ▲9.3 | 1.58倍 |
| 富良野 | 381.0 | 365.3 | ▲15.7 | 1.04倍 | 34.7 | 23.9 | ▲10.8 | 1.45倍 | 28.4 | 14.5 | ▲13.9 | 1.96倍 | 74.5 | 47.0 | ▲27.5 | 1.59倍 | 12.7 | 8.0 | ▲4.7 | 1.59倍 |
| 留萌 | 417.0 | 410.9 | ▲6.1 | 1.01倍 | 43.3 | 29.8 | ▲13.5 | 1.45倍 | 35.5 | 14.2 | ▲21.3 | 2.50倍 | 80.6 | 68.2 | ▲12.4 | 1.18倍 | 4.1 | 2.6 | ▲1.5 | 1.58倍 |
| 宗谷 | 417.0 | 485.8 | 68.8 | 0.86倍 | 47.2 | 32.5 | ▲14.7 | 1.45倍 | 47.7 | 19.6 | ▲28.1 | 2.43倍 | 97.7 | 75.3 | ▲22.4 | 1.30倍 | 13.0 | 8.2 | ▲4.8 | 1.59倍 |
| 道北圏 | 6,344.7 | 6,917.3 | 572.6 | 0.92倍 | 920.9 | 633.8 | ▲287.1 | 1.45倍 | 453.7 | 296.6 | ▲157.1 | 1.53倍 | 871.3 | 788.5 | ▲82.8 | 1.11倍 | 429.6 | 271.1 | ▲158.5 | 1.58倍 |
| 北網 | 1,925.9 | 2,120.5 | 194.6 | 0.91倍 | 261.9 | 180.2 | ▲81.7 | 1.45倍 | 183.9 | 94.7 | ▲89.2 | 1.94倍 | 297.3 | 267.8 | ▲29.5 | 1.11倍 | 133.9 | 84.5 | ▲49.4 | 1.58倍 |
| 遠紋 | 572.4 | 580.0 | 7.6 | 0.99倍 | 49.7 | 34.2 | ▲15.5 | 1.45倍 | 49.4 | 25.0 | ▲24.4 | 1.98倍 | 106.6 | 114.4 | 7.8 | 0.93倍 | 29.3 | 18.5 | ▲10.8 | 1.58倍 |
| オホーツク圏 | 2,498.3 | 2,700.5 | 202.2 | 0.93倍 | 311.6 | 214.4 | ▲97.2 | 1.45倍 | 233.3 | 119.7 | ▲113.6 | 1.95倍 | 403.9 | 382.2 | ▲21.7 | 1.06倍 | 163.2 | 103.0 | ▲60.2 | 1.58倍 |
| 十勝 | 3,041.9 | 3,211.1 | 169.2 | 0.95倍 | 503.5 | 346.5 | ▲157.0 | 1.45倍 | 257.6 | 69.0 | ▲188.6 | 3.73倍 | 468.6 | 415.3 | ▲53.3 | 1.13倍 | 132.4 | 83.6 | ▲48.8 | 1.58倍 |
| 十勝圏 | 3,041.9 | 3,211.1 | 169.2 | 0.95倍 | 503.5 | 346.5 | ▲157.0 | 1.45倍 | 257.6 | 69.0 | ▲188.6 | 3.73倍 | 468.6 | 415.3 | ▲53.3 | 1.13倍 | 132.4 | 83.6 | ▲48.8 | 1.58倍 |
| 釧路 | 2,474.0 | 2,569.1 | 95.1 | 0.96倍 | 372.0 | 256.0 | ▲116.0 | 1.45倍 | 187.1 | 105.8 | ▲81.3 | 1.77倍 | 322.1 | 219.5 | ▲102.6 | 1.47倍 | 42.7 | 27.0 | ▲15.7 | 1.58倍 |
| 根室 | 393.7 | 452.0 | 58.3 | 0.87倍 | 48.7 | 33.5 | ▲15.2 | 1.45倍 | 48.8 | 16.7 | ▲32.1 | 2.92倍 | 100.9 | 71.1 | ▲29.8 | 1.42倍 | 6.3 | 4.0 | ▲2.3 | 1.58倍 |
| 釧路・根室圏 | 2,867.7 | 3,021.1 | 153.4 | 0.95倍 | 420.7 | 289.5 | ▲131.2 | 1.45倍 | 235.9 | 122.5 | ▲113.4 | 1.93倍 | 423.0 | 290.6 | ▲132.4 | 1.46倍 | 49.0 | 31.0 | ▲18.0 | 1.58倍 |
| 全道需要計 | 58,569.1 | 58,385.2 | ▲183.9 | 1.00倍 | 8,898.9 | 6,124.0 | ▲2,774.9 | 1.45倍 | 4,752.1 | 2,374.8 | ▲2,377.3 | 2.00倍 | 7,041.8 | 6,046.2 | ▲995.6 | 1.16倍 | 2,176.4 | 1,373.8 | ▲802.6 | 1.58倍 |

留意事項: 施設区分によっては、二次医療圏ごとの基礎データがなく、直近の統計資料等を基に試算(案分)した区分がある【p6 別紙1参照】

2025年における地域医療構想の実現を前提とした推計であり、その実現度合いにより、看護職員の必要数は変化する可能性がある

「D訪問看護事業所」の必要数は、精神病床からの基盤整備量(利用者数)を、便宜上、すべて訪問看護により対応するものとして仮定した場合の推計である【国の推計方法】

第8次北海道看護職員需要推計(医療圏別・施設別の試算－参考値) 【常勤換算】

(単位:人)

別紙4-2

| 施設区分 二次圏 ・三次圏 | G 保健所 | | | | H 都道府県・市町村 | | | | I 助産所 | | | | J 看護師等学校養成所・研究機関 | | | | K 事業所 | L その他 |
|---------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|---------------------|------------------|------------------|------------------|--------------------------------------|----------|
| | 2025 需要数 ① | 2018 就業者 ② | 差引 (②-①) ③ | 対比 (①:②) ④ | 2025 需要数 ① | 2018 就業者 ② | 差引 (②-①) ③ | 対比 (①:②) ④ | 2025 需要数 ① | 2018 就業者 ② | 差引 (②-①) ③ | 対比 (①:②) ④ | 2025 需要数 ① | 2018 就業者 ② | 差引 (②-①) ③ | 対比 (①:②) ④ | 2025需要数①= 2018就業者② (対比④=1.00倍) | |
| 南渡島 | 29.4 | 26.7 | ▲2.7 | 1.10倍 | 126.5 | 106.7 | ▲19.8 | 1.19倍 | 4.5 | 3.4 | ▲1.1 | 1.32倍 | 35.8 | 34.8 | ▲1.0 | 1.03倍 | 18.9 | 92.4 |
| 南檜山 | 4.8 | 4.4 | ▲0.4 | 1.09倍 | 39.1 | 33.0 | ▲6.1 | 1.18倍 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 10.0 | 11.0 | 1.0 | 0.91倍 | 0.0 | 0.2 |
| 北渡島檜山 | 6.6 | 6.0 | ▲0.6 | 1.10倍 | 43.2 | 36.4 | ▲6.8 | 1.19倍 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 |
| 道南圏 | 40.8 | 37.1 | ▲3.7 | 1.10倍 | 208.8 | 176.1 | ▲32.7 | 1.19倍 | 4.5 | 3.4 | ▲1.1 | 1.32倍 | 45.8 | 45.8 | 0.0 | 1.00倍 | 18.9 | 92.6 |
| 札幌 | 83.5 | 75.9 | ▲7.6 | 1.10倍 | 509.1 | 429.4 | ▲79.7 | 1.19倍 | 27.9 | 21.1 | ▲6.8 | 1.32倍 | 437.8 | 428.8 | ▲9.0 | 1.02倍 | 208.3 | 418.5 |
| 後志 | 35.6 | 32.4 | ▲3.2 | 1.10倍 | 110.9 | 93.5 | ▲17.4 | 1.19倍 | 1.3 | 1.0 | ▲0.3 | 1.30倍 | 22.7 | 22.7 | 0.0 | 1.00倍 | 14.4 | 26.1 |
| 南空知 | 13.2 | 12.0 | ▲1.2 | 1.10倍 | 98.4 | 83.0 | ▲15.4 | 1.19倍 | 0.8 | 0.6 | ▲0.2 | 1.33倍 | 57.8 | 56.8 | ▲1.0 | 1.02倍 | 3.1 | 48.8 |
| 中空知 | 12.1 | 11.0 | ▲1.1 | 1.10倍 | 98.0 | 82.6 | ▲15.4 | 1.19倍 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 18.0 | 19.0 | 1.0 | 0.95倍 | 0.0 | 5.4 |
| 北空知 | 6.6 | 6.0 | ▲0.6 | 1.10倍 | 47.8 | 40.3 | ▲7.5 | 1.19倍 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 14.0 | 14.0 | 0.0 | 1.00倍 | 0.1 | 0.8 |
| 西胆振 | 11.0 | 10.0 | ▲1.0 | 1.10倍 | 88.9 | 75.0 | ▲13.9 | 1.19倍 | 2.6 | 2.0 | ▲0.6 | 1.30倍 | 38.0 | 38.0 | 0.0 | 1.00倍 | 5.4 | 22.1 |
| 東胆振 | 11.5 | 10.5 | ▲1.0 | 1.10倍 | 95.0 | 80.1 | ▲14.9 | 1.19倍 | 1.3 | 1.0 | ▲0.3 | 1.30倍 | 21.1 | 24.1 | 3.0 | 0.88倍 | 22.1 | 43.8 |
| 日高 | 13.2 | 12.0 | ▲1.2 | 1.10倍 | 61.1 | 51.5 | ▲9.6 | 1.19倍 | 0.3 | 0.2 | ▲0.1 | 1.50倍 | 10.0 | 10.0 | 0.0 | 1.00倍 | 2.4 | 8.4 |
| 道央圏 | 186.7 | 169.8 | ▲16.9 | 1.10倍 | 1,109.2 | 935.4 | ▲173.8 | 1.19倍 | 34.2 | 25.9 | ▲8.3 | 1.32倍 | 619.4 | 613.4 | ▲6.0 | 1.01倍 | 255.8 | 573.9 |
| 上川中部 | 48.6 | 44.2 | ▲4.4 | 1.10倍 | 130.2 | 109.8 | ▲20.4 | 1.19倍 | 4.4 | 3.3 | ▲1.1 | 1.33倍 | 129.7 | 129.7 | 0.0 | 1.00倍 | 22.4 | 98.9 |
| 上川北部 | 8.8 | 8.0 | ▲0.8 | 1.10倍 | 85.1 | 71.8 | ▲13.3 | 1.19倍 | 2.6 | 2.0 | ▲0.6 | 1.30倍 | 30.6 | 34.6 | 4.0 | 0.88倍 | 0.0 | 4.5 |
| 富良野 | 7.7 | 7.0 | ▲0.7 | 1.10倍 | 43.9 | 37.0 | ▲6.9 | 1.19倍 | 0.3 | 0.2 | ▲0.1 | 1.50倍 | 12.3 | 12.3 | 0.0 | 1.00倍 | 0.4 | 0.0 |
| 留萌 | 7.4 | 6.7 | ▲0.7 | 1.10倍 | 60.1 | 50.7 | ▲9.4 | 1.19倍 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 3.0 | 0.3 |
| 宗谷 | 8.8 | 8.0 | ▲0.8 | 1.10倍 | 80.5 | 67.9 | ▲12.6 | 1.19倍 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 10.0 | 10.0 | 0.0 | 1.00倍 | 0.0 | 8.4 |
| 道北圏 | 81.3 | 73.9 | ▲7.4 | 1.10倍 | 399.8 | 337.2 | ▲62.6 | 1.19倍 | 7.3 | 5.5 | ▲1.8 | 1.33倍 | 182.6 | 186.6 | 4.0 | 0.98倍 | 25.8 | 112.1 |
| 北網 | 15.4 | 14.0 | ▲1.4 | 1.10倍 | 127.6 | 107.6 | ▲20.0 | 1.19倍 | 4.5 | 3.4 | ▲1.1 | 1.32倍 | 53.0 | 56.0 | 3.0 | 0.95倍 | 12.4 | 34.9 |
| 遠紋 | 9.4 | 8.5 | ▲0.9 | 1.11倍 | 76.8 | 64.8 | ▲12.0 | 1.19倍 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 10.0 | 10.0 | 0.0 | 1.00倍 | 0.0 | 4.6 |
| オホーツク圏 | 24.8 | 22.5 | ▲2.3 | 1.10倍 | 204.4 | 172.4 | ▲32.0 | 1.19倍 | 4.5 | 3.4 | ▲1.1 | 1.32倍 | 63.0 | 66.0 | 3.0 | 0.95倍 | 12.4 | 39.5 |
| 十勝 | 23.0 | 20.9 | ▲2.1 | 1.10倍 | 248.7 | 209.8 | ▲38.9 | 1.19倍 | 10.3 | 7.8 | ▲2.5 | 1.32倍 | 30.0 | 30.0 | 0.0 | 1.00倍 | 5.2 | 21.5 |
| 十勝圏 | 23.0 | 20.9 | ▲2.1 | 1.10倍 | 248.7 | 209.8 | ▲38.9 | 1.19倍 | 10.3 | 7.8 | ▲2.5 | 1.32倍 | 30.0 | 30.0 | 0.0 | 1.00倍 | 5.2 | 21.5 |
| 釧路 | 15.8 | 14.4 | ▲1.4 | 1.10倍 | 91.8 | 77.4 | ▲14.4 | 1.19倍 | 9.1 | 6.9 | ▲2.2 | 1.32倍 | 42.7 | 42.7 | 0.0 | 1.00倍 | 3.2 | 48.4 |
| 根室 | 9.9 | 9.0 | ▲0.9 | 1.10倍 | 68.7 | 57.9 | ▲10.8 | 1.19倍 | 1.8 | 1.4 | ▲0.4 | 1.29倍 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.8 | 3.8 |
| 釧路・根室圏 | 25.7 | 23.4 | ▲2.3 | 1.10倍 | 160.5 | 135.3 | ▲25.2 | 1.19倍 | 10.9 | 8.3 | ▲2.6 | 1.31倍 | 42.7 | 42.7 | 0.0 | 1.00倍 | 4.0 | 52.2 |
| 全道需要計 | 382.3 | 347.6 | ▲34.7 | 1.10倍 | 2,331.4 | 1,966.2 | ▲365.2 | 1.19倍 | 71.7 | 54.3 | ▲17.4 | 1.32倍 | 983.5 | 984.5 | 1.0 | 1.00倍 | 322.1 | 891.8 |

※「K 事業所」、「L その他」区分の推計値は、直近の調査結果を推計値としている(差引③ = 0、対比④ = 1.00倍)

第8次北海道看護職員需給推計（全道版・施設別一参考値）【実人員】

参考資料

(単位:人)

| 施設区分 【 】は第7次推計における施設区分名 | 第7次 需給推計 | 第8次 需給推計 | 需給の比較 (10年間) | 参考:看護職員業務従事者届 (10年前③、直近調査④)の比較 | | | 従事者届と 需給推計の比較 | |
|---------------------------------|------------------|-----------------|------------------|-----------------------------------|------------------|------------------|------------------|-------|
| | H27年① (2015年) | R7年② (2025年) | 第8次-第7次 (②-①) | H20年③ (2008年) | H30年④ (2018年) | H30-H20 (④-③) | H30-第8次 (④-②) | |
| A1 一般病床及び療養病床(有床診) 【有床診療所】 | 4,710 | 57,751.4 | 5,956.7 | 4,055 | 3,572 | ▲ 483 | ▲ 1,998.7 | |
| A2 一般病床及び療養病床(病院) 【病院】 | 52,383 | | | 5,298.3 | 52,150 | 57,479 | | 5,329 |
| B 精神病床 【なし】⇒A2の病院を細分化 | | | | | | | | |
| 病床計(A1+A2+B) | 57,093 | 63,049.7 | 5,956.7 | 56,205 | 61,051 | 4,846 | ▲ 1,998.7 | |
| C 無床診療所 【無床診療所】 | 10,851 | 13,081.4 | 2,230.4 | 6,255 | 7,671 | 1,416 | ▲ 5,410.4 | |
| D 訪問看護事業所 【訪問看護ステーション】 | 2,669 | 5,702.5 | 3,033.5 | 1,422 | 2,853 | 1,431 | ▲ 2,849.5 | |
| E 介護保険サービス 【介護保険関係】 | 11,266 | 8,408.8 | ▲ 2,857.2 | 4,853 | 7,537 | 2,684 | ▲ 871.8 | |
| F 社会福祉施設 【社会福祉施設、在宅サービス】 | 1,225 | 2,611.7 | 1,386.7 | 785 | 1,653 | 868 | ▲ 958.7 | |
| G 保健所(市町村はHへ移行) 【保健所、市町村】 | 2,108 | 447.3 | 1,067.0 | 418 | 379 | ▲ 39 | ▲ 68.3 | |
| H 都道府県・市町村 【なし】⇒Gを細分化 | | 2,727.7 | | 1,745 | 2,243 | 498 | ▲ 484.7 | |
| I 助産所 【助産所】 | 48 | 85.3 | 37.3 | 52 | 68 | 16 | ▲ 17.3 | |
| J 看護師等学校養成所・研究機関 【看護師等学校養成所】 | 1,012 | 1,022.9 | 10.9 | 861 | 1,036 | 175 | 13.1 | |
| K 事業所(研究機関はJへ移行) 【事業所、研究機関等】 | 305 | 367.2 | 62.2 | 305 | 397 | 92 | 29.8 | |
| L その他 【なし】⇒新設 | | 1,043.4 | 1,043.4 | 924 | 1,068 | 144 | 24.6 | |
| I 需要推計 | 86,577 | 98,547.9 | 11,970.9 | 73,825 | 85,956 | 12,131 | ▲ 12,591.9 | |
| II 供給推計 | 83,165 | 96,056.0 | 12,891.0 | | | | ▲ 10,100.0 | |
| III 差引(II-I) | ▲ 3,412 | ▲ 2,491.9 | 920.1 | III 差引(I-II) | | | ▲ 2,491.9 | |

※ 実人員に係る各施設区分の需要推計(②欄)は、常勤換算で算出した人数に、国の推計ツールによる係数(常勤換算と実人数の比率)を掛けて算出